

政務活動費活動報告（視察）

(1) 出席者（会派名・個人名）

夢みらい 小川吉則 森田充 矢吹安子 戸崎 克司

(2) 実施日： 2/14(水)

【 1. 調査の目的】

(1) 本市における現状

彦根城観光に頼りすぎている

彦根市内に道の駅がない

(2) 本市における課題

彦根城世界遺産登録にともなう地域の方々の意識改革

彦根城観光以外の新たな観光名所の開発・発掘

【 2. 調査地選定理由】

(1) 調査項目：東近江市の観光、道の駅について

(2) 選定地 1：東近江市

【 3. 調査結果】

(1) 内 容

東近江市の観光戦略及び、道の駅 あいとうマーガレットステーションについて

道の駅 あいとうマーガレットステーションは、2018年に台風19号の影響で大屋根被害にあわれ、店舗を臨時休業してスタッフと有志で緊急補修作業をされた。また、2020年には新型コロナウイルスの感染拡大と相次ぐ打撃となった。

しかし、三方よしの精神を大切に従業員・スタッフ、そして生産者の方々が主体となって支えられてきたことが大きな強みであり、滋賀県の令和4年度観光入込客数では、彦根城の第12位515,998人を上回る、第9位664,300人と毎年安定した入込客数となっている。

東近江市の観光戦略で力を注いでおられる点は、地域・自然、歴史、文化などの「地域資源のみがきあげ」で、住んでみたい、また来てみたい街をめざしている。

今年8月頃、東近江市小路町にて「コストコ東近江倉庫店」がオープン予定となっており、災害時の連携協定を結び、地域の発展につながるとみている。

あいとうマーガレットステーション概要

開業：1995年10月25日(現在28年目)

運営会社：一般社団法人 愛の田園振興公社

東近江市より指定管理を受け、道の駅東近江市あいとうマーガレットステーションを管理運営(第3セクター)

・田園生活館

取扱商品：おみやげもの、地元産ドライフラワー、アロマテラピー、雑貨類等

年間売上高：約1億円

取扱商品内訳：仕入商品9割、委託販売1割

・Rapy

取扱商品：ジェラート、焼菓子、クッキー、ケーキ等

年間売上高：約5千万円（ジェラートが7割）

100%オリジナル商品

・あいとう直売館

取扱商品：メロン、梨、ぶどう、いちご、その他果樹、野菜、米、豆、加工品 等

年間売上高：約5億円6千万円

100%東近江市産(7割が愛東地域)

出荷会員数：220名(一部法人含む)

販売手数料：一般商品：15%(内2%はJA)

冷蔵商品：17%(内2%はJA)

出荷会員年会費：1,000円(法人は3,000円)

主な開催行事：あいとうメロンまつり、あいとうスイカまつり、あいとうぶどうまつり

あいとう梨まつり

2019年に直売所甲子園グランプリ受賞(全国直売所研究会 主催)

(2) 考 察

東近江市の取り組み「地域資源のみがきあげ」は、地域の方々に支えられてこそだと思われる。彦根市の地域資源である彦根城の世界遺産登録は本市のまちづくりの中核をなすものであることを、彦根市全体で地域の方々に伝え、意識改革から彦根市の発展につなげなければいけない。

また、彦根市の南地域の湖岸道沿い、荒神山周辺などに道の駅の開発を計画し彦根市全体の観光案内及び、地域の方々の憩いの場となる施設と開設することも必要と考えられる。